

施策番号 3-2-2	施策名 子育て環境の充実	基本目標	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり		
		政策名	安心して子育てできるまちづくり		
	主管課	子育て支援課	課長名	佐々木 雅之	内線 168
	施策関係課				

施策の方針		対象	意図				結果
子どもの健やかな心身の成長を促すとともに、教育・保育相互の子ども情報の連携、保護者への教育情報の円滑な提供を促進します。		子ども、保護者	・子どもの健やかな心身の成長 ・教育・保育相互の連携が進み、保護者への教育情報の提供がスムーズになされる				保護者が安心して子どもを預けることができる
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度目標
① 保育所の保育サービスに満足している保護者の割合	保護者アンケート	%	認可89.4 農村97.9	95.8	96.2	94.8	95.0
② 保育所待機児童数	実績数	人/年	0	0	0	0	0
③							
④							
成果指標設定の考え方	①は、町内保育施設を利用する保護者アンケートの結果を成果指標として設定。 ②は、保育所待機児童数ゼロを継続するため、成果指標に設定。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算
施策事業費(千円)	707,283	727,525	729,830	748,011
人工数(業務量)	4,0687	4,0060	2,8991	2,6277

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価 (前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	・成果指標①は若干下がっているが目標値に近く、高水準である ・成果指標②は保育施設の協力により待機児童0を継続できている
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	保護者アンケート結果等を踏まえて施設毎の協議を行い、保育の質向上に向けた取り組みを推奨することにより、保護者満足度向上が期待できる。
(2) 施策の成果評価に対する2021年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	保育事業 町立保育所運営事業 子どもセンター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「保育事業」「町立保育所運営事業」→私立の認可保育所や認定こども園、小規模保育事業所のほか、町が2か所の保育所を運営するなか、多様な保育ニーズに応じており、待機児童ゼロを継続している。令和元年10月から幼児教育・保育無償化が開始され、町独自施策として3～5歳児の副食費を無償化し、保護者の経済的負担軽減を図っている ・「子どもセンター運営事業」→町内2か所の子どもセンターとみなみっこ児童館について、放課後や長期休み期間を有意義に過ごせる安全安心な居場所として運営している。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課 評価	国の幼児教育保育無償化に合わせた町独自施策の実施による子育て世帯への支援強化、保育の質向上に向けた連携体制の確立、みなみっこ児童館(平成30年度～)の安定運営など、子育て環境の充実が図られた。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
 D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月より、国の幼児教育保育無償制度開始。保護者の就労により保育を要する児童が増加 ・子どもの放課後の居場所として、放課後児童クラブ・児童館を利用することもが定着している <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共稼ぎ世帯が増加し、0歳児等の保育ニーズが上昇 ・保育士専門職確保の困難性が常態化してきている
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育: 令和4年度内の町内整備を目指すとして議会へ説明 ・議会所管委員会において、保育事故の再発防止、保育士確保を含めた保育環境向上に向けた実施主体としての取り組みについて意見がある

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ●保育事業の充実 保育事故の防止対策徹底と質向上に向けた実施主体としての具体的な取り組み ●病児保育提供体制の整備 町内における病児保育提供体制の整備 ●子どもセンターの安定的運営 民間活力活用を含め、質的向上と将来にわたる安定運営を目指した体制の検討

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。民間ベースの取組が多いですが、町としての体制整備も進めてください。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	担当課評価、庁内評価同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の働き方と報酬の改善をしてほしい ・高校生の施設利用料の無償化を行ってほしい ・病児保育を開始してほしい ・5に記載の取組みを進めてください。 	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					